

## 広島県内のインフルエンザの流行状況(流行入り)について

資料提供  
平成24年12月20日  
課名 健康対策課  
担当者 松岡・永田  
電話(直通) 082-513-3068  
(内線) 3068

広島県感染症発生動向調査による平成24年第50週(12月10日から12月16日)の定点医療機関(115医療機関)からのインフルエンザ患者報告数が、定点当たり1.71(患者数197人)となり、**流行の目安としている1.0を上回りました。**

昨シーズンと比べて、ほぼ同じ時期での流行の始まりとなります。

また、現在、県内ではインフルエンザの患者から、B型とA香港型のウイルスが検出されています。

### ●インフルエンザは、予防できる病気です。

インフルエンザの予防、流行の拡大防止には、次の点に注意してください。

- ・ 外から帰ったときだけでなくこまめに、流水と石けんで**“手洗い”**，“うがい”を励行しましょう。
- ・ **予防接種**をまだ受けられていない方は、早めに受けましょう。  
(インフルエンザに罹りにくくなり、罹っても症状が軽くなる効果があります。)
- ・ 睡眠をしっかりととり、偏食せずバランスの取れた食事を心がけ、体力をつけましょう。
- ・ **咳エチケット**(※)を守りましょう。
- ・ 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう。
- ・ 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、不織布製マスクを着用しましょう。
- ・ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。  
特に**基礎疾患(腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等)**をお持ちの方や、**妊婦、高齢者、乳幼児**は合併症を起こしたり、重症化する恐れがありますので注意しましょう。

#### ※「咳エチケット」とは

- 咳やくしゃみがでたら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。  
マスクがない場合は、ハンカチやティッシュなどで口と鼻を覆い、周りの人から顔をそむけて1m以上離れる。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。

### ●県内の流行状況【平成24年第50週(12月10日から12月16日)】

保健所名	県保健所				広島市	呉市	福山市	県内計
	西部	西部東	東部	北部				
定点当たり患者数(人)	2.63	0.50	0.40	9.83	0.84	3.85	0.22	1.71
報告患者数(人)	42	5	6	59	31	50	4	197
定点医療機関数	16	10	15	6	37	13	18	115

※ 定点当たり患者数とは……定点報告の対象となる五類感染症については、広島県又は広島市が指定した医療機関(定点医療機関)から、1週間ごとに患者数が報告されます。(インフルエンザは115医療機関からの報告)  
定点当たりの報告数とは、これらの定点医療機関からの報告数を定点医療機関数で割った値のことで。

#### 【これまでの広報の状況】

- ・ 平成24年12月4日 「学校等におけるインフルエンザ様疾患の集団発生について」(県内初報)～北部保健所初発
- ・ 平成24年12月10日 「学校等におけるインフルエンザ様疾患の集団発生について」(第2報)～西部保健所初発

インフルエンザについての詳しい情報は、次のホームページをご覧ください。

- 広島県「インフルエンザ流行状況」  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1258079048226.html>